● 北九州市　中小企業支援情報 ●　Vol.281（毎月1日発行）

ネットワーク北九州

2011.5
NETWORK KITAKYUSHU

中小企業支援ネットワーク強化事業 始まる

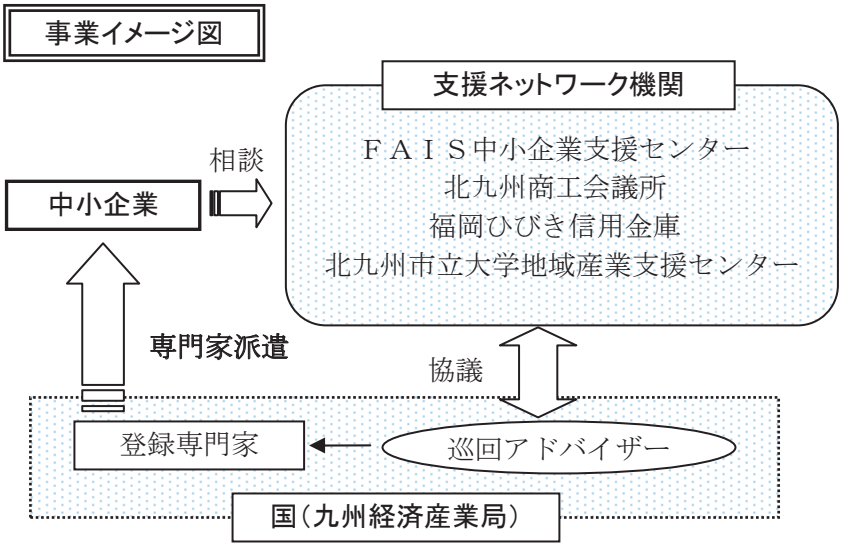
平成23年度から中小企業への新たな支援事業「中小企業支援ネットワーク強化事業」が始まりました。

この事業は、国が中小企業支援機関のネットワークづくりを行い、支援機関相互の連携強化と支援能力の向上を図りながら、中小企業が抱える様々な分野の経営課題解決の支援に対応しようとするものです。

九州経済産業局管内の参加は117の支援機関で、北九州市内では「FAIS中小企業支援センター」、「北九州商工会議所」、「福岡ひびき信用金庫」、「北九州市立大学地域産業支援センター」の4つの機関が参加しています。

具体的な支援は、**無料の専門家派遣事業（3回限度）です。**支援機関は、国が選定・設置した「巡回アドバイザー」と連携して、機関相互のノウハウや情報を共有しながら、相談があった中小企業の様々な分野の課題に応じた専門家を派遣しその解決に当たります。

お気軽にご相談ください。



【問合せ先】（財）北九州産業学術推進機構　中小企業支援センター　TEL：093-873-1430

知的所有権センター事業も充実

北九州知的所有権センターは、平成23年度から国が全国で整備を進めている「知的財産総合窓口」を設置し、これまで以上にサービス体制を強化します。「特許」「実用新案」「商標」「意匠」などの知的財産権を活用した支援活動を継続するとともに、特に、(財)福岡県中小企業振興センターや(社)福岡県発明協会との連携を取りながら、弁理士等専門家の無料派遣制度を充実します。また、中小企業支援センターと連携したワンストップサービスを提供します。

浦井 知財トータルサポーター

（具体的な支援事業）

- **知財トータルサポーター**による**権利申請支援**や**特許情報検索指導**
- **特許流通コーディネーター**による**特許の活用**や**他社特許の導入支援**
- **弁理士**による**発明相談窓口**の設置（主として金曜日午後）
- **専門家**の**派遣事業（無料）**

沖 特許流通コーディネーター

【問合せ先】　北九州知的所有権センター　TEL：093-873-1432

発行／（財）北九州産業学術推進機構（FAIS）中小企業支援センター　TEL:093-873-1430　FAX:093-873-1450　http://www.ktc.ksrp.or.jp
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号(JR九州工大前駅北側、北九州テクノセンタービル1階)

研究開発に成功した２社が成果を発表!!

◆北九州市中小企業技術開発振興助成金　成果発表会◆

北九州市は、新技術・新製品等の研究開発を行う中小企業に技術開発助成金を交付しています。

去る3月23日、北九州テクノセンタービルにおいて、本助成制度を活用して技術開発に成功した『(株)キューヤマ』と『（有)ハウスおじさん』の2社の成果発表会を開催しました。

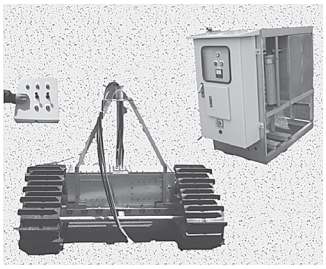
両社の開発テーマに関心を持つ企業やこれから技術開発に取り組もうとする企業が参加し、北九州市立大学大学院　越出均教授のコーディネートで、研究開発で苦労した点や成功に至るまでの経緯、そして今後の展開方針などが発表されました。今回は、その一部を紹介します。

【水圧駆動式海底耕耘作業機の開発】

株式会社キューヤマ　環境開発事業部長　大下 光明 氏
（門司区港町７－８　門司郵船ビル３Ｆ　TEL：322-3288）

これまで、海底環境の保全・改善や水産資源の回復のため、潮が引いて露出した軟泥干潟を走行・耕うんする「干潟走行機」や、エアレーションを利用した「海底耕耘機」を製作してきました。

昨今、養殖場の海底、ダム湖の水底など、40mを超える水深の底質改善の需要が高まってきたことから、従来製品の機能をアップし、大深度においても走行可能な「水圧駆動式海底耕耘作業機」の開発を行いました。



水圧駆動システムの開発にあたっては、材料劣化や水漏れなどの克服すべき課題が多くありましたが、水圧ポンプや制御用各種弁などの部品を新たに開発し、製品化にこぎつけることができました。今後はより深い海底へ、また大陸棚全体に活動のフィールドを広げていくことを目標にしています。

北九州市の助成制度は、他の制度と比べて補助率も高く、事務処理の負担も比較的少ないことから、皆様にも活用をお勧めします。

（株)キューヤマは、平成11年の創業で、海洋・港湾土木資材の販売を中心に事業を行っていました。現在では、海辺・水辺の環境を改善するための機器開発に力を入れており、環境省の実証実験などにも積極的に取り組んでいます。

【屋根用簡易雪おろし装置の開発】

有限会社ハウスおじさん　代表取締役 鍵本　芳寿 氏
（小倉北区菜園場２丁目２－１４　TEL:５６２-００６１）

安全かつ簡単に雪おろしができるよう、住宅の屋根に独自のネット（網）を設置し、積雪後比較的小さな動力で雪おろしができる装置を開発しました。

開発中は、雪の少ない九州近辺で適当な実験場を確保することに苦労しましたが、広島県の旅館経営者の協力を得て、ネットを引く際の摩擦抵抗値が把握できるなど、一定の成果をあげることができました。コスト面や円滑な動きを実現するための駆動機構の確保など、残された課題はありますが、早期の製品化を目指しています。

その後、屋根とネットの界面に氷霜を付着させないというこのネットの特性を活かして、車のフロントガラスに氷霜を付着させない「ネットかばちゃん」を開発し、昨年12月にテレビ東京の『ワールドビジネスサテライト』の「トレンドたまご」において、246作品の中から最優秀年間大賞に選ばれました。

助成金の申請にあたっては、申請書の書き方やプレゼンテーションの内容を工夫して、新規性、市場性、優位性などをアピールするテクニックも必要ですが、何より大切なのは、製品開発に対する熱意だと思います。

（有）ハウスおじさんは、平成14年の創業で、住宅の増改築を主としています。近年では上記のネット事業のほか、不動産事業、金属加工事業にも進出しています。

現在、**平成23年度北九州市中小企業技術開発振興助成金の申請を受付中**です。

募集締め切り：平成23年5月18日（水）

詳しくは、北九州市中小企業振興課工業経営支援担当（TEL：873-1433）までお問い合わせください。

多彩なカリキュラムで企業の人材育成をサポートします。　中小企業大学校直方校

中小企業大学校直方校は、強い組織づくりのために、時代のニーズに合わせ体系的・階層別のテーマ設定による多彩なカリキュラムで、中小企業の人づくりを支援しています。

また、北九州市では、中小企業大学校直方校へ研修生を派遣した中小企業者または中小企業団体を対象に、予算の範囲内で受講料補助金を交付しています。

平成23年度の補助対象研修コースは、経営戦略や管理者養成のための長期コースをはじめ、能力開発や営業・マーケティング、生産管理、女性コース、地域活性化の25コースです。

《平成23年度中小企業大学校直方校の補助対象研修コース一覧》

テーマ	No.	コース名	テーマ	No.	コース名
経営戦略	116	成功させる事業再構築・新規事業の進め方	営業・マーケティング	103	売れる営業チームづくり講座・4月
	173	戦略的中期経営計画の策定コース（10～2月）		108	管理者のための実践ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ戦略講座
管理者養成	201	経営管理者養成コース（7～12月）		111	顧客満足対応のマーケティング講座・5月
	202	工場管理者養成コース（6～11月）		114	成果の出る営業計画と目標設定の考え方
能力開発	101	新任管理者研修・4月		117	営業マネージャーパワーアップ研修・6月
	106	管理者マネジメント能力向上コース		121	新規顧客開拓の考え方・進め方
	168	新任管理者研修・2月		124	顧客の信頼を得る提案営業の進め方
生産管理	112	5Sと現場の「目で見る管理」・5月		133	営業管理体制とプロジェクトマネジメント
	139	5S実践力向上講座・9月		142	売れる営業チームづくり講座・9月
	162	5Sと現場の「目で見る管理」・1月		147	リーダーシップと部下育成の考え方
	166	5S実践力向上講座・2月		148	営業マネージャーパワーアップ研修・10月
女性	102	女性管理者のための能力向上講座		167	顧客満足対応のマーケティング講座・2月
地域活性	137	地域資源活用ビジネスパワーアップセミナー			

《直方校受講料補助の概要》

交付対象	次の要件をすべて満たす中小企業者または中小企業団体 1　受講者　市内にある事務所または事業所に勤務する者（経営者を含む）で、修了証書の交付を受けた者 2　対象研修　上表の「平成23年度　中小企業大学校直方校の補助対象研修コース」
補助金額	受講生1名につき受講料の1/3以内（1,000円未満の端数は切り捨て）
交付申請	1　申請期限　平成24年2月28日(火)まで〔平成24年2月頃、補助金申請の案内を送付します。〕 2　申請書類　補助金交付申請書、受講料の振込みが確認できる書類等

【問合せ先】

研修申し込み先：（独）中小企業基盤整備機構　九州支部　中小企業大学校直方校
TEL：0949-28-1144　URL　http://www.smrj.go.jp/inst/nogata/

補助金交付申請先：北九州市　産業経済局　中小企業振興課　TEL：093-873-1433

ダイハツ工業(株) 白水会長の講演を300名が傾聴！

平成22年度第3回自動車産業新規参入・取引拡大セミナー

北九州市は、去る3月24日ステーションホテル小倉においてダイハツ工業㈱の白水会長をお招きし、「これからの自動車産業の課題について(生き残りをかけて)」と題してご講演いただきました。前職のトヨタ時代の「経営改革・生産改革・技術改革」から、ダイハツ工業会長就任後の経営改革の取組みまで、実例を交えながらのお話しは、自動車産業だけでなく、モノづくりに携わる多くの方々から共感を得ることができました。ここでは、講演の一部を紹介します。

【「改善」から「改革」へ】

「改善」は、人のモチベーションを上げる目的でボトムアップで行うやり方であるが、「改革」は、それなりの権限と知識を持った人がトップダウンで行うやり方である。

中国の部品メーカーと対抗するためには、日本の時間軸で物事を考えていたのでは勝てない。「改善」のように数%ずつの積み上げでは間に合わないぐらいのところまできている。自分たちの時間軸、そして開発のスピード、技術の蓄積、こういうものを従来とは全く違った発想で行う「改革」が求められている。

【九州のモノづくりの方向性】

今回の東日本大震災で自動車メーカーの生産ラインはすべて止まったが、残念なことに、仮に九州からの部品供給がストップしたとしても、生産ラインが止まる自動車メーカーは1社もない。厳しいことを言うが、これが今の九州の実力である。

これを変えていくことが課題となる。その答えの一つは、アルミ・樹脂・金属プレスといった、ポピュラーな部品やその加工で価格的に中国に負けないという目標の定め方である。もう一つは、例えばショックアブソーバーのように、高度な技術が複合的に求められる部品を開発し、納品するというやり方である。また、海外で作る自動車の鍛造品、冷鍛部品の部材の多くは、日本からの輸出品である。欧州でもアメリカでも日本の部材に敵うものができない。そのようなものを開発するというやり方もある。

【重要な武器はスピード】

九州には世界で恐れられている企業がある。安川電機は世界のロボット市場で相当のシェアを持っている。三井ハイテックの車載用モーターコアがなければハイブリッド車のモーターはできない。

誰もがそういう企業になれるわけではないが、今の自分の持っている能力を他社よりも速いスピードで提供できるということは、重要な武器になるのではないかと思う。

【これからの経営者・管理者に求められるもの】

これからは、PDCA(計画-実行-評価-改善)ではなく、EPDA(予測-計画-決断-実行)の時代になる。予測して、決断しないといけない。決断する責任は、連帯責任ではなく、決断者自身が持つ。そういう経営者であり、管理者でなければいけない。

前提条件を変えてやることも重要。できない理由は前提条件にあることが多い。

例えば、「軽四輪もやれ、普通車もやれ、何でも付けろ、安くコンパクトにしろ」。そんなことができるわけがない。前提条件は「軽四輪だけでいい」とする。当然、リスクは伴うが、そのリスクは自分が責任を持つというように決断しなければならない。そうすると社員は安心して仕事ができる。

【問合せ先】　北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：沖田・中嶋　TEL:093-873-1433

北九州商工会議所「中小企業優良従業員表彰」のご案内

北九州商工会議所では、中小企業で働く従業員の皆さんの福利厚生のために、毎年「優良従業員表彰」を実施しています。この事業は、同一事業所で5年以上勤続されている従業員の方々を表彰し、勤労意欲の向上を図るものです。

従業員の福利厚生の一環として、この機会に是非ご利用ください。

- ◆ 表彰式日時　平成23年7月14日(木)16時～17時　引続き、記念講演と記念パーティーを開催します。
- ◆ 表彰式会場　リーガロイヤルホテル小倉
- ◆ 申 込 金　1名につき　商工会議所会員・共済会員事業所 7,000円、非会員事業所 12,000円
- ◆ 受 付 期 間　5月16日(月)～6月6日(月)

表彰制度の詳細、申込方法は北九州商工会議所ホームページ（URL http://www.kitakyushucci.or.jp/）をご覧ください。

【問合せ先】　北九州商工会議所　中小企業振興課　担当:川上　TEL:093-541-0188